

記入例② 授業料減免後の合計額が貸付限度額を下回る場合

(入学金 50,000 円減免、授業料 1,500,000 円減免に決定した方の例)

※高等教育の修学支援新制度利用者のみ提出

(別紙)

高等教育の修学支援新制度利用者修学費用の使途計算書

養成校が提示(規定)する金額を記入

給付型奨学金の決定金額は記入不要

修学費用の使途 (計算用)	科目	養成校提示の金額(a)	授業料等減免金額(b)	給付型奨学金(c)	差引額 (a)-(b)-(c)
	入学料	200,000 円	50,000 円	円	(A) 150,000 円
授業料	2,000,000 円	1,500,000 円	円	(B) 500,000 円	
教材費	100,000 円	円	円	(C) 100,000 円	
施設費	100,000 円	円	円	(D) 100,000 円	
実習費	100,000 円	円	円	(E) 100,000 円	
その他	100,000 円	円	円	(F) 100,000 円	
合計	2,600,000 円	1,550,000 円		1,050,000 円	

科目	申請書記載金額
入学準備金 (上記 A の額)	150,000 円
修学資金 (上記 B ~ F の額)	900,000 円
合計	1,050,000 円

授業料等減免金額を記入

差引した金額を記入



修学資金貸付申請書

借入を希望する 期間と金額	借用希望期間: 令和4年 4 月から 令和6年 3 月まで			
	月額 50,000 → 37,500 円 (5万円以内) × 24 箇月分 = ① 計 1,200,000 → 900,000 円			
	②入学準備金 200,000 → 150,000 円 (初回加算上限 20 万円以内)	⑤生活費加算(該当者のみ) 基準額 円 × 月分 = 円		
	③就職準備金 200,000 円 (最終回加算 上限 20 万円以内)	④国家試験受験対策費用 80,000 円 上限年間 4 万円以内 卒業前 2 ヶ年分) ※介護福祉士修学資金のみ該当		
(総額①+②+③+④+⑤) -1,680,000 → 1,330,000 円				
修学費用の使途	入学料	200,000 → 150,000 円	他の貸付金・奨学金等の利用状況	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	授業料	2,000,000 → 500,000 円	(名称) <input type="checkbox"/> 生活福祉資金(教育支援資金、技能習得費) <input checked="" type="checkbox"/> 日本学生支援機構 <input type="checkbox"/> 母子寡婦福祉資金 <input type="checkbox"/> 日本政策金融公庫 <input type="checkbox"/> 教育訓練給付	
	教材費	100,000 円	利用期間	利用期間: 令和 4 年 4 月から 利用期間: 令和 6 年 3 月まで
	施設費	100,000 円		
	実習費	100,000 円		
	その他	100,000 円	利用金額	月額 円 × 箇月分 = 計 1,550,000 円
	合計	2,600,000 → 1,050,000 円	現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 返済中 <input type="checkbox"/> その他 ( )